

山一電機株式会社

【株主のみなさまへ】
第62期 報告書

2016.4.1~2017.3.31

■ グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

1. 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

2. 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

3. 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

4. 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

5. 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

■ セグメント別売上高構成比と主要な事業内容（平成29年3月期）

光関連事業



RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザー光源

コネクタソリューション事業

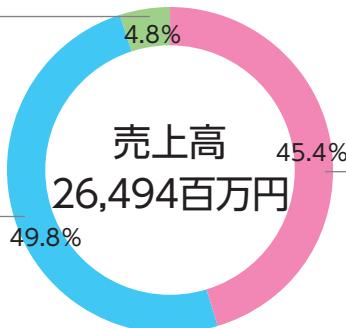


コネクタ、実装用ICソケット、フレキシブルプリント配線板（YFLEX®）

テストソリューション事業



検査用ICソケット、プローブカード、FPC検査用ソケット、半導体テストサービス



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと
拝察申し上げます。平成28年度(第62期・平成28年4月
1日から平成29年3月31日まで)の事業の概況をお届けし、
ご報告申し上げます。

代表取締役社長

太田 佳孝



当連結会計年度の電子部品業界は、高機能スマートフォンや高性能サーバーなどの情報通信関連機器向け半導体や各種電子部品、自動車の電子化や自動運転に向けた車載用半導体や各種電子部品の需要は好調な推移となりました。

このような状況の下、当社は「創立60周年」を迎え、中期経営計画の最終年度として「構造改革」「収益力強化」「成長戦略」の3本を柱とする「事業構造改革」に取り組み、グループ会社全体での連携を強化し、経営の効率化と収益力の強化を図ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売価調整や為替変動(前年同期比1米ドル当たり11円78銭の円高)の影響もあり、売上高は26,494百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は2,714百万円(前年同期比6.8%減)、経常利益は2,561百万円(前年同期比1.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,089百万円(前年同期比45.2%増)となりました。

次期の見通しにつきましては、通信インフラ投資の進展、

データセンター向け高性能サーバーの需要拡大、スマートフォンの高機能化や自動車の電子化の進展等に向けた積極的な半導体設備投資および各種電子部品の需要拡大が見込まれております。平成29年度を初年度とする3カ年の山一電機グループ新中期経営計画(平成30年3月期～平成32年3月期)は、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き目指すこととし、この経営目標の達成にあたり「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から取り組んでまいります。戦略としては、「成長戦略」と「構造改革」を核に推進し、お客様のニーズに応えられる企業に成長するとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

経営方針（第62期）

「お客様が満足する製品・サービスを提供できる会社」を目指す！

構造改革

グループ連携の強化

グループ会社の効率化を追求する

シンプルな事業運営

組織運営を最小限にし、経営資源を機動的に投入する

販管費の圧縮

グローバルに業務の改善を推進する

収益力強化

グローバルニッチ

戦略を策定・実行し、持続的成長と収益力の向上を図る

ロスコストの低減

現場力に磨きをかけ、無駄なコストの削減を徹底する

海外機能アップ

開発、QCD管理、サプライチェーン管理を海外移転する

成長戦略

テストソリューション事業

お客様に満足いただける製品提供を拡大する

コネクタソリューション事業

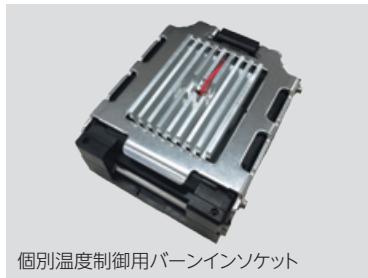
差別化製品の販売とグループ販売戦略を強化する

光関連事業

新製品開発で差別化を図る

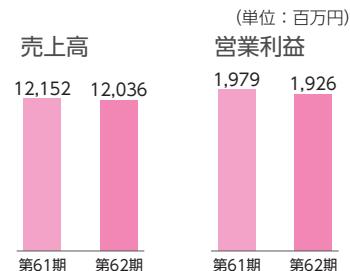
テストソリューション事業

個別温度制御用バーンインソケットを開発



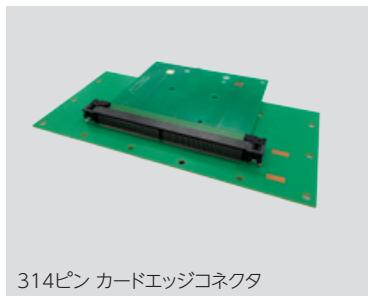
個別温度制御用バーンインソケット

半導体のバーンインテスト工程における個別温度制御は、大容量、高速化する車載、サーバー、クラウド用の半導体テストに欠かせない手法の一つです。当社は独自の技術により、温度制御用のセンサーおよびヒーターをヒートシンクに組み込んだ個別温度制御用バーンインソケットを開発いたしました。バーンインテスト工程における歩留りの大幅な改善とテスト工程の効率化のニーズにお応えしております。



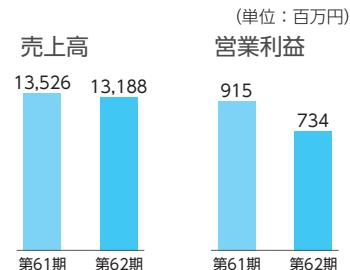
コネクタソリューション事業

自動運転制御ユニット向け314ピン カードエッジコネクタを開発



314ピン カードエッジコネクタ

近年開発が加速している自動車の自動運転に対応した自動運転制御ユニットのグラフィックモジュール（画像処理モジュール）向けに314ピン カードエッジコネクタを開発いたしました。大量の画像データをリアルタイムに処理するデバイスに対応し、10ギガヘルツ（約20ギガbps）の伝送を可能にした製品です。1台の自動車に10台以上搭載される各種車載カメラとセンサーから取り込まれた大量な画像信号を処理するデバイスが搭載されたモジュールの接続部分で採用が見込まれています。
※bps=ビット毎秒（通信速度）



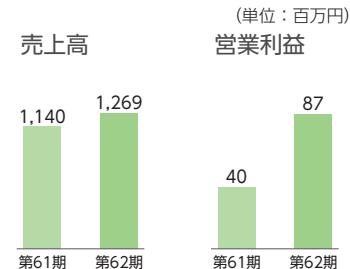
光関連事業

人工衛星に搭載する宇宙空間通信用狭帯域バンドパスフィルタを開発



宇宙空間通信用狭帯域バンドパスフィルタ

火星探査などの宇宙開発が進む中で、天体観測衛星、国際宇宙ステーション、通信衛星などを利用した宇宙空間通信システムの構築が国際的に進められています。この通信には宇宙空間を飛び交う様々な雑音信号を除去し、通信用光信号だけを送受信する狭帯域透過フィルタが必須になっています。光関連部門では宇宙空間通信に求められる厳しい光学仕様と宇宙空間の厳しい環境に耐えられる宇宙空間通信用狭帯域バンドパスフィルタを開発いたしました。



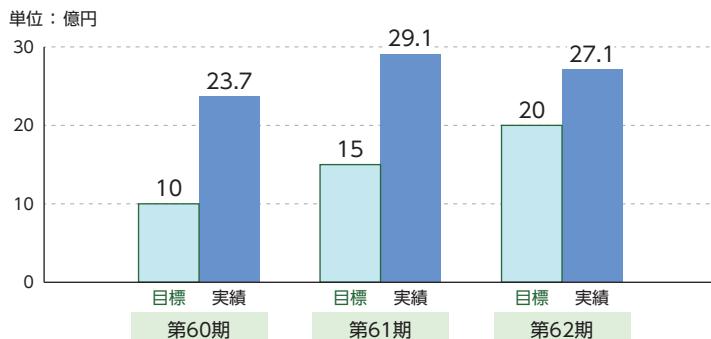
中期3カ年経営計画(平成27年3月期～平成29年3月期)実績のご報告 「お客様が満足する製品・サービスを提供できる会社」の基盤づくりの3カ年

3カ年累計で連結営業利益80億円と大幅に達成！

○連結営業利益目標・結果

3カ年累計 目標額 45億円以上

実績額 **80億円**



□経営目標

お客様が満足いただける
製品・サービスを提供できる
会社に成長すること

平成26年度策定の山一電機グループ中期経営計画では、“構造改革”“収益力強化”“成長戦略”の3本を柱とする「事業構造改革」に取り組み、平成29年3月期までの3年間で、連結営業利益目標額45億円に対し80億円と大幅に達成し、収益力の向上と財務体質の強化を図ることができました。

設備投資額につきましては、3カ年累計目標額70億円に対して、53億円の投資額となり、全て自己資金で行いました。

2017年
2月1日

Test Solution Services, Inc. 本社移転のお知らせ



当社グループのTest Solution Services, Inc. (フィリピン) は、2月1日に本社を移転しました。

Test Solution Services, Inc. は、フィリピン半導体顧客における受託テストサービスをメイン事業としております。テストに伴う装置・基板製作および保守メンテナンス、ならびに人員派遣等、様々なテストサービスを提供しています。

新所在地：No.5 Circuit Street, Light Industry Science Park 1,
Barrio Diezmo, Cabuyao, Laguna, 4025 Philippines

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (平成29年3月31日現在)	前期 (平成28年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	15,404	13,598
現金及び預金	5,729	4,305
受取手形及び売掛金	4,802	4,783
たな卸資産	3,439	3,296
その他	1,433	1,212
固定資産	12,486	12,478
有形固定資産	9,970	10,009
無形固定資産	99	127
投資その他の資産	2,415	2,341
繰延資産	2	2
資産合計	27,892	26,080
【負債の部】		
流動負債	7,533	7,565
支払手形及び買掛金	1,868	1,670
短期借入金	3,567	3,634
その他	2,096	2,261
固定負債	1,877	1,322
社債	57	92
長期借入金	737	671
その他	1,082	559
負債合計	9,410	8,888
【純資産の部】		
株主資本	18,668	17,515
資本金	10,047	10,047
資本剰余金	1,586	1,586
利益剰余金	8,138	6,386
自己株式	△ 1,103	△ 503
その他の包括利益累計額	△ 330	△ 349
新株予約権	10	10
非支配株主持分	134	15
純資産合計	18,482	17,191
負債純資産合計	27,892	26,080

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	前期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上高	26,494	26,819
売上原価	18,192	17,699
売上総利益	8,302	9,120
販売費及び一般管理費	5,587	6,207
営業利益	2,714	2,913
営業外収益	104	223
営業外費用	257	538
経常利益	2,561	2,598
特別利益	52	368
特別損失	6	1,028
税金等調整前当期純利益	2,608	1,938
法人税、住民税及び事業税	422	473
法人税等調整額	96	27
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 0	△ 1
親会社株主に帰属する当期純利益	2,089	1,439

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	前期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,468	3,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,296	△ 1,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 661	△ 1,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△ 187
現金及び現金同等物の増減額	1,523	△ 418
現金及び現金同等物の期首残高	4,199	4,617
現金及び現金同等物の期末残高	5,723	4,199

■ 会社の概要 (平成29年3月31日現在)

商 号 山一電機株式会社
 所 在 地 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
 設 立 昭和31年11月
 資 本 金 100億4,706万円
 従 業 員 数 347名 (連結 1,445名)
 主な事業内容 1. テストソリューション事業
 2. コネクタソリューション事業
 3. 光関連事業

■ 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式総数 23,289,775株
 株主数 4,532名
 単元株式数 100株
 大株主

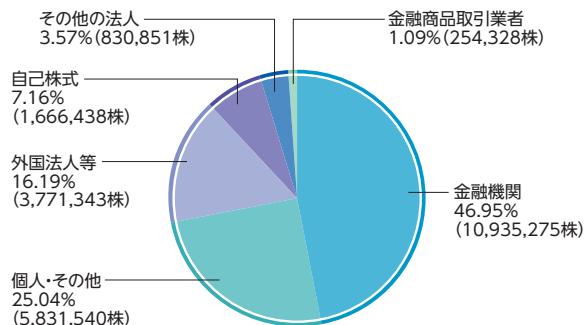
株 主 名	持株数	持株比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,936,200	18.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,818,200	8.40
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	946,800	4.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	799,400	3.69
株式会社三井住友銀行	619,300	2.86
山一電機取引先持株会	598,400	2.76
山一電機従業員持株会	490,488	2.26
日本生命保険相互会社	421,075	1.94
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	398,900	1.84
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	354,400	1.63

(注) 1. 当社は、自己株式を1,666,438株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式1,666,438株を控除して計算しております。

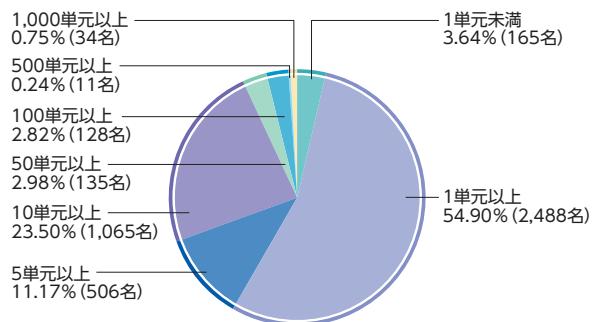
■ 役員 (平成29年6月28日現在)

代表取締役社長 太田 佳 孝 常勤監査役 加藤 勝 市
 取締役 土屋 武 社外監査役 多田 郁 夫
 取締役 亀谷 淳 一 社外監査役 吉澤 壽美雄
 取締役 松田 一 弘
 社外取締役 楠 美 憲 章
 社外取締役 村 田 朋 博

■ 所有者別株式数分布状況 (平成29年3月31日現在)



■ 所有株数別株主数分布状況 (平成29年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部：証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6941

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。

(タイトル、本文は無記入)

アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に

到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差し上げてさせていただきます



*本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)

*ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900

「e-株主リサーチ事務局」(平日 10:00~17:30)

MAIL:info@e-kabunushi.com

IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、「株主のみなさまへ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で
ご覧いただける
投資家情報

- IRカレンダー
- 有価証券報告書
- 決算短信
- 株主総会
- 株主のみなさまへ
- 株主優待制度

<http://www.yamaichi.co.jp/ir/tabid/87/Default.aspx>

山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号

テクノポート三井生命ビル

☎03-3734-0115 (代表) ☎03-3734-0120

ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

